

みどりの風



おちやのたね

- ・おおらかに
- ・チャレンジ
- ・のびのび
- ・ただしすがた・たすけ合う
- ・ネバーギブアップ



令和6年2月29日 校長 池田 誉

親子で体験しました！

1月27日（土）の参観日・PTA親子研修会には、お忙しい中多数ご参加いただきありがとうございました。

今回は、全校で福祉体験学習として親子で「聴覚障がい」について学びました。真庭市福祉課と真庭市社会福祉協議会にご協力いただき、当日は合計15名の方が来てくださいました。

実際に聴覚障がいをお持ちの方も3名来てくださいました。普段の暮らしの様子を教えてくださいただくことで、自分たちが何気なく行っていることが、聞こえないと難しくなることに気づきました。

手話体験では、自分の名前や簡単なあいさつなどの手話を、講師の方にていねいに教えていただきました。どのグループも、親子で楽しみながら熱心に手話の練習に取り組んでいました。いろいろな人と関わりながら生活していく上で、コミュニケーションを積極的に取ろうとする意識が大切であることを学べた貴重な時間となりました。



PTA親子研修会では、綱島啓太さんと井原明美さんを講師にお迎えし、「ミニスワッグ」づくりを体験しました。富原で採れる植物を組み合わせ、親子で仲良くスワッグ作りを楽しみ、素敵なスワッグが完成しました。身近な自然に目を向けるよい機会にもなりました。講師のお二人、PTA社会研修部の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



今回の参観日で、親子で何かを体験することのよさを改めて感じました。親と一緒に何かを作ったり学んだりする体験は、子どもにとって大きな財産となります。また、親にとってもしっかり子どもと関われる時期は小学校までです。体験は親子の貴重な思い出ともなります。メディアに影響されがちな生活を少し見直し、空いた時間や休日などを利用して、親子でよい時間を積み重ねてほしいと思います。

行事の様子から

学校保健委員会 2月1日(木)



学校医の中井先生、学校歯科医の宮島先生、栄養教諭の佐倉先生においでいただき、学校保健委員会を開催しました。学校からは児童の健康や体力の状況についてお伝えしました。中井先生からは視力について、宮島先生からは歯みがきについて、佐倉先生からは給食の献立の工夫についてお話をいただきました。児童の健康について考える貴重な機会となりました。

保育園での読み聞かせ 2月5日(月)



図書委員会の児童が富原保育園を訪問し、園児たちに絵本の読み聞かせをしました。少々緊張気味でしたが、熱心に聴いてくれる園児の前で、がんばって読むことができました。園との交流活動の一つでもあり、図書委員の児童にとっても、活動の成果を見てもらえるよい機会となりました。

食品ロス講座 2月16日(金)



5・6年生が真庭市の環境出前講座として「食品ロス」について学びました。講師のセブンイレブンジャパンの方が、世界の食品ロスの現状、国内や企業の食品ロス削減に向けた取組について話をしてくださいました。身近なお店の食品ロス削減の取組から、日常の買い物や食事で自ら取り組めることについて考える機会となりました。

真庭ライオンズクラブ図書費贈呈 2月21日(水)



真庭ライオンズクラブより「学校図書の充実のために」との名目で図書費を寄贈していただきました。2名の方が来校され、児童代表に封筒を手渡してくださいました。せっかくいただいた図書費なので、児童の希望も聞いて本を選定していきたいと思えます。

歴史は楽しい!

2月19日(月)、5・6年生が勝山郷土博物館と三浦邸の見学に行きました。社会科で歴史について学んだことをきっかけに、地域の歴史への関心が高まっています。



勝山振興局の山本地域振興課長に案内していただき、富原で出土した土器や三浦氏の甲冑を興味深く観察したり、戦国から江戸時代にかけての勝山藩の様子についての話を熱心に聴いたりしました。3月には、富原の歴史について、講師の方を招いて学習する予定です。